

## 第3回日本語教育研究集会予稿集

---

発表者	タイトル	頁
鈴木智美	「そんなX」に見られる感情・評価的意味 - 話者がとらえる事態の価値・意味と非予測性 -	2 - 5
稲田朋晃	日本語学習者の発話の自然性について ~ アクセント句とイントネーション句の形成に注目して ~	6 - 9
村松由起子	日本人・留学生混在クラスにおける日本語学習の試み - 両者にとっての意義と今後の課題 -	10-13
家田章子	条件の階層化と逆接表現	14-17
杉村 泰	起点 を示す格助詞「を」と「から」の誤用分析	18-21
松下達彦	日本語教育プログラム研究の課題と展望	22-25
渡邊ゆかり	日本語の文に関する一考察 - 講演者の発話に見る動詞「~なる」 -	26-29
林 佩芬	「NCQ型」数量詞表現	30-33
木下りか	名詞と形容詞の装定用法 - 色彩と距離の表現における選択条件 -	34-37
長谷川紀子	接触場面会話における発話の重なり	38-41
名嶋義直	ノダは「説明のモダリティ」か	42-45
河口苗子	日本語授業における教師の疑問文と教授ストラテジー	46-49

---

時 2005年8月8日(月)

場所 名古屋大学大学院国際言語文化研究科棟 LL22 番教室

主催 日本語教育研究集会実行委員会

本研究集会は財団法人大幸財団の助成によるものである